

【重点審議事項の論点整理について（知事公室所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>県民との相互理解を深める情報発信および戦略的な対外PRについて</p>	<p>○令和3年5月19日 常任委員会 ・令和3年度中に策定、変更予定の県の計画等について ・令和元年度包括外部監査の結果および意見に対するその後の措置状況について</p> <p>○令和3年7月12日 常任委員会 ・「(仮称) 滋賀県広報戦略」の策定について</p> <p>○令和3年12月15日 常任委員会 ・「滋賀県広報戦略」の策定について</p>	<p>滋賀県広報戦略の策定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報戦略としてホームページの運用は大事な部分であり、以前にホームページの運用で様々な問題があったところでもあるので、情報政策課との連携をしっかりと取っていただきたい。 ・ パソコンではなくスマートフォンでホームページを閲覧する方が7割から8割ということなので、スマートフォン向けサイトを充実していただきたい。 ・ 現状として興味のある情報のみを選択して入手する傾向が強いとのことだが、興味のある情報をしっかりと入手してもらうことは県のことを理解していただく第一歩である。そこからどのようにしてプラスアルファの広報につなげていくかが戦略として大事である。 ・ 県公式ホームページの閲覧数が増えたことだけを取り上げるのではなく、県公式ホームページを県政情報の入手方法としている方が少ないことも課題としてしっかりと認識した上で、ホームページにかかる予算や取組を検討されたい。 ・ 滋賀ならではのコンテンツを打ち出すに当たっては、観光や歴史の分野でどういったものを打ち出すのかについて、しっかりと精査していただきたい。 ・ 広報戦略を策定する意義は、これまで部局でバラバラに行っていた広報を統一的に運用することにあるので、県として統一された情報発信が行われ、滋賀県に対する理解が深まるようにしっかりと議論をしていただきたい。 	<p>令和4年 3月7日 滋賀県広報 戦略策定</p>

【重点審議事項の論点整理について（総合企画部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>高等専門学校設置に向けた検討について</p>	<p>○令和3年5月19日 常任委員会 ・令和3年度中に策定、変更予定の県の計画等について ・高等専門学校の設置に向けた検討について</p>	<p>教育機関との連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会との連携をしっかりと取っていただき、現場の声をしっかりと酌み取っていただきたい。 ・進路指導を行う中学校の先生方に対して高等専門学校構想の内容をしっかりと周知していただきたい。 	<p>令和4年 3月10日 「令和の時代の滋賀の高等」構想骨子策定</p>
	<p>○令和3年9月8日 常任委員会 ・高等専門学校の設置に向けた検討状況について</p>	<p>学びの方向性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代の高等専門学校となるよう、学習内容については、情報通信技術等がしっかりと学べる先鋭的なものを提案していただきたい。 ・生徒の募集や施設規模にも影響するため、専攻科も設けるのかどうかについても早期に検討を進められたい。 	
	<p>○令和3年12月15日 常任委員会 ・高等専門学校の設置に向けた検討について（構想骨子素案）</p>	<p>教員の確保について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の確保については令和4年度からの検討ということだが、高等専門学校において教員は重要な要素であることから、今年度中の確保までは難しいにしても、教員に関する検討については、いろいろなネットワークを使って今年度から始めていただきたい。 ・学校長はしっかりと滋賀県に根付いて、滋賀県の教育に注力していただける方を選んでいただきたい。 	
	<p>○令和4年1月31日 常任委員会 ・高等専門学校の設置場所の検討について</p>	<p>設置場所について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町からの誘致合戦が予想されるので、スケジュールや方向性を示しながら混乱のないようにしっかりと対応していただきたい。 ・県としてのきちんとした方針を持った上で選考懇話会の委員の意見を求めるという意識をしっかりと持って進めていただきたい。 ・審査基準は構想骨子の要件に沿ったものとなるようにされたい。 ・寮の有無によって市町が提案しようとする土地が変わってくるため寮についての方針を早急に決定されたい。 ・公平な選考基準や市町の提案を十分に聞き取る機会について配慮されたい。 	
	<p>○令和4年3月9日 常任委員会 ・高等専門学校の設置に向けた検討について（構想骨子案）</p>	<p>設置主体について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県立大学ありきで考えるのではなく、現段階では県直営の選択肢もあったほうがよいのではないかと。 	

【重点審議事項の論点整理について（総務部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>県庁における健康経営・ダイバーシティ経営の推進について</p>	<p>○令和3年7月12日 常任委員会 ・健康経営・ダイバーシティ推進の取組について</p>	<p>業務の見直しについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国から県に対する調査、照会については、本当に必要なものに限って行うよう、国に対して要請していただきたい。また、県から市町に対して調査、照会を行う際にも本当に必要なものかどうかを精査して行っていただきたい。 ・RPA（ロボティックプロセスオートメーション）の活用事例が現在9業務だけに留まっているので、もっと活用を進められたい。 	
	<p>○令和4年3月8日 常任委員会 ・健康経営・ダイバーシティ推進の取組について</p>	<p>ハラスメント防止について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントに関するアンケートの実施について、毎年アンケートを行ってはいるが、ハラスメントだと思う行為を受けているという回答数に比べて相談にまでつながっている件数が少ないので、アンケートを取るだけでなく相談につなげて解決に結びつけられるような工夫が必要である。 	
		<p>働きやすい職場づくりについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・試行として職員の幸福度診断を行うとのことであるが、県民のために働く公務員には幸せなことばかりでなく辛くても頑張らなければならないこともあり、この事業の目的を明確にした上で取り組まれない。 ・幸福度診断について、職員の幸福度は個人の内面にも関係し、定量化できないことも含まれているので、そういったものに税金を使って取り組むことが本当に必要か、県民からの理解が得られるのかをしっかりと考えて取り組んでいただきたい。 ・特定の部署で時間外勤務が過大になっているが、業務が属人的なものとならないように組織として対応できる体制をしっかりと組んでいただきたい。 ・職員のメンタルヘルスに関する取組をしっかりと進めていただきたい。 	
		<p>県庁の人づくりについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員には県民とのコミュニケーションのとり方を常に意識していただき、職員への啓発もそういうことに重点的に取り組んでいただきたい。 	